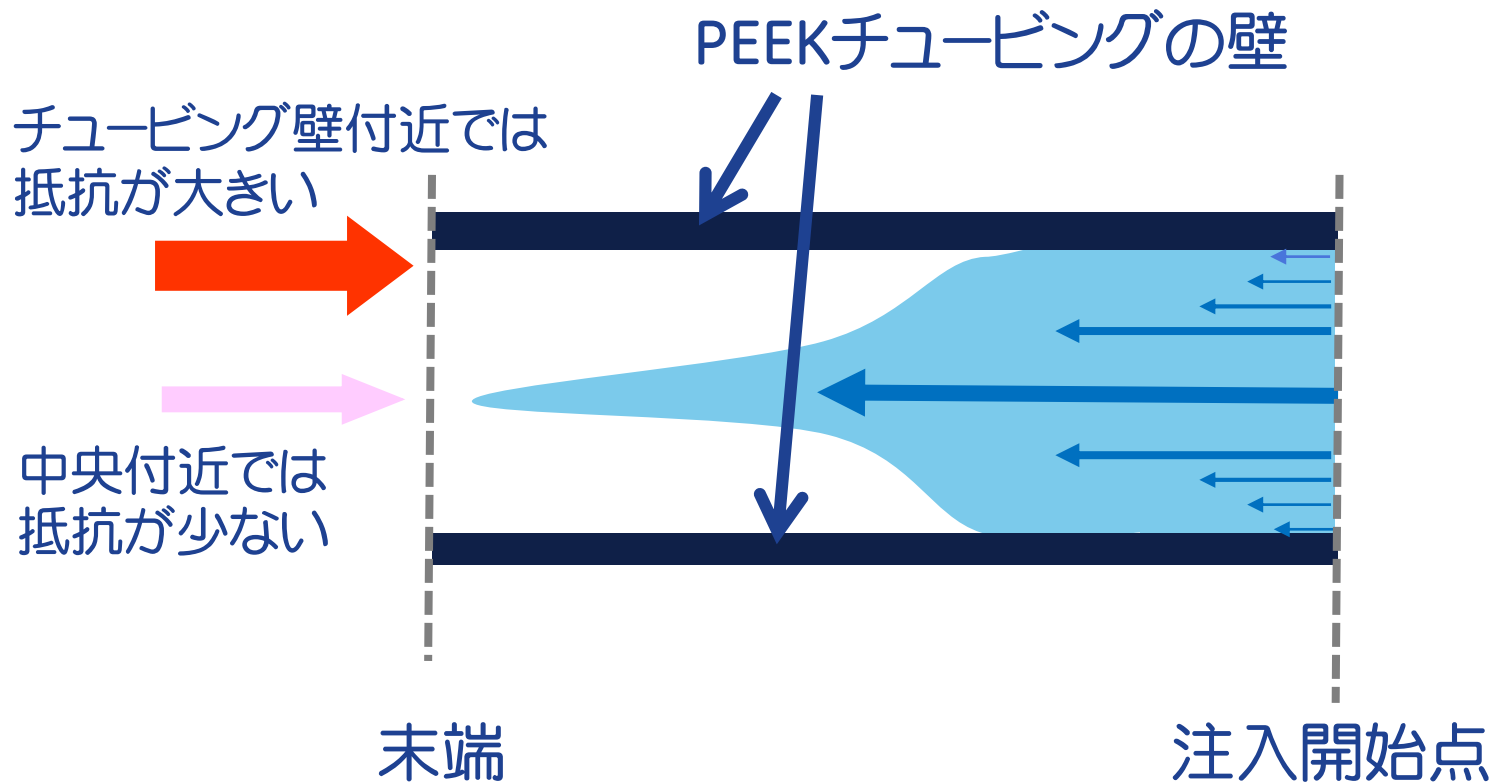
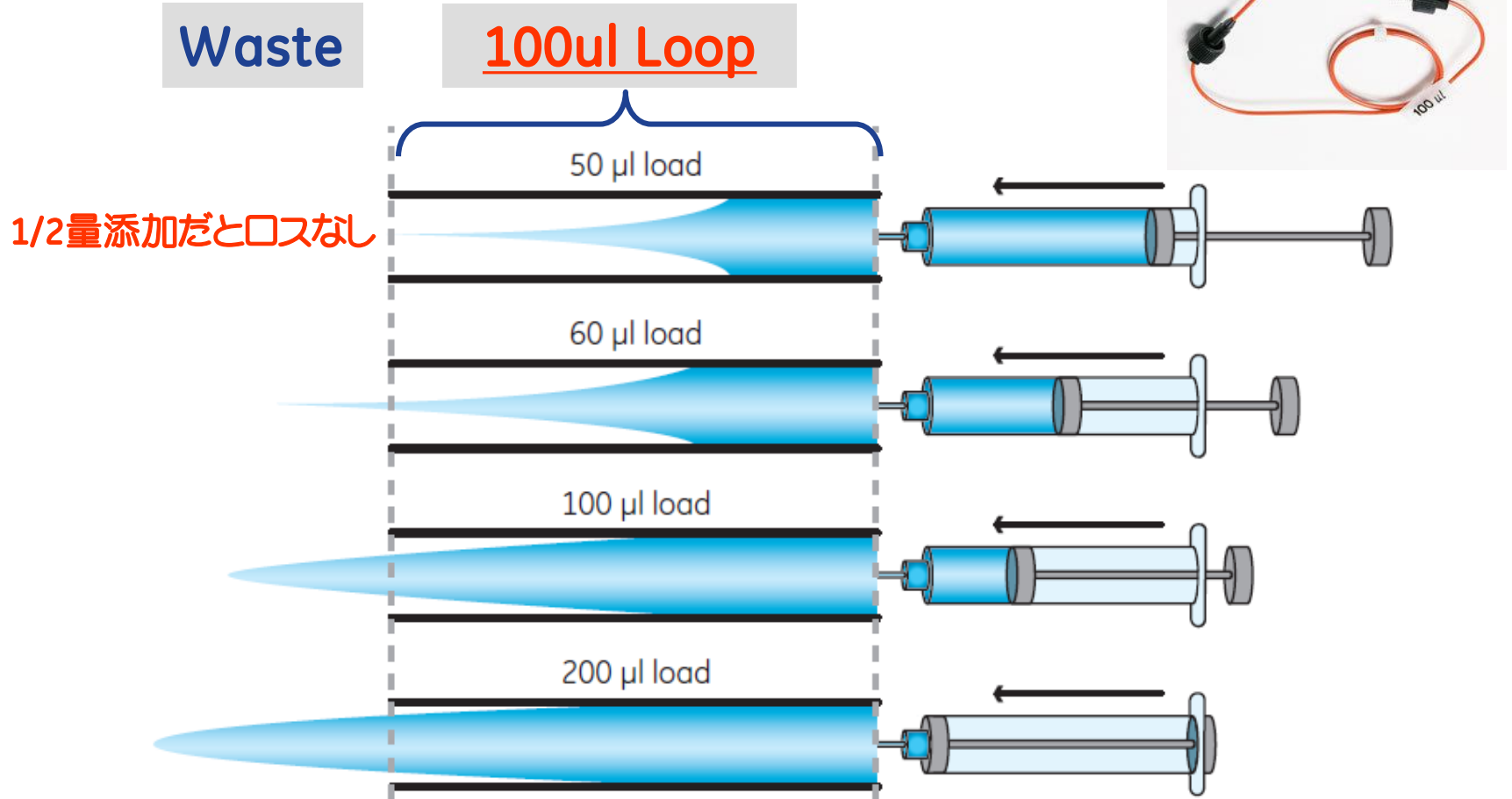


# PEEKチュービング中の溶液の流れ方



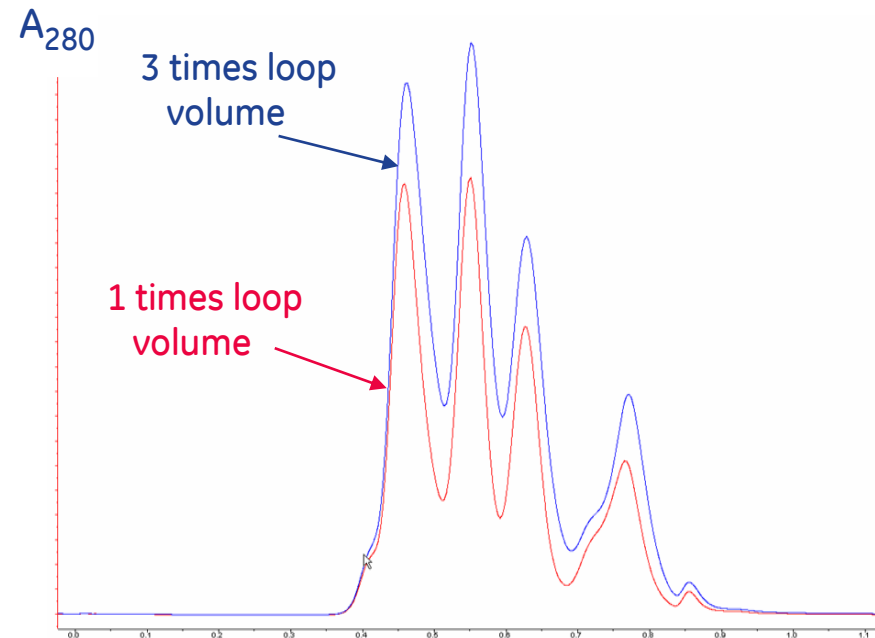
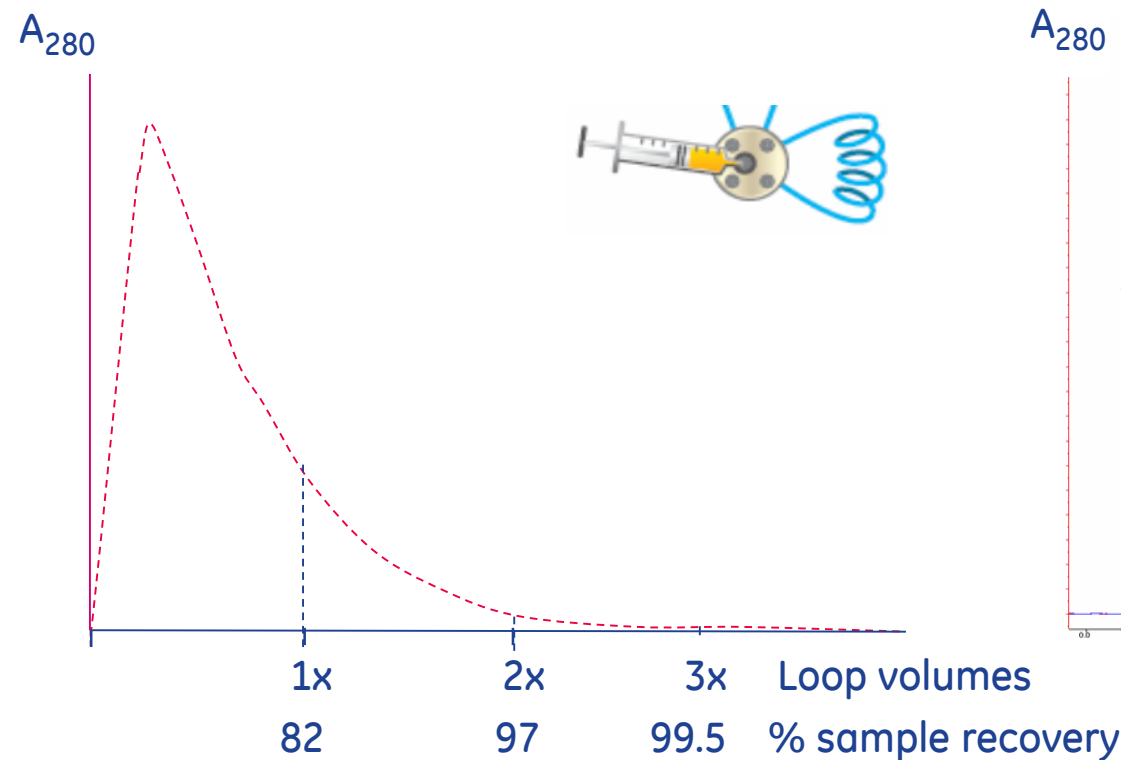
チュービングの中央ほど先に進み、管壁付近は遅れる

# サンプルループへサンプルを打つ時には？



- 部分充填= ループ体積の1/2までの充填でロス回避
- 完全充填= ループ体積の3倍以上の充填で完全に満たされる

# ループ中のサンプルをカラムに押し出す バッファ量は?



ロスせず打ち込むには、ループ体積の3倍以上のバッファでサンプルを押し出す必要あり

(配管径により前後する可能性がある)

# サンプルループへの部分充填のやり方 (AKTA avant, AKTA pure)

- 1、インジェクションバルブ”Syr”ポートにバッファー(液量:ループ体積の3倍以上)の入った注射器をセットし、注射筒からバッファーをサンプルループへ添加する
- 2、1の注射器を抜く前にW1廃液チュービングの先端を”Syr”ポートと同じ高さまで持ち上げて保持する(片方の手で持つておく)
- 3、2の高さでW1チュービングを保持したまま、1の注射器を抜く
- 4、サンプル(液量:ループ体積の半分まで)を吸い上げた注射器を”Syr”ポートに差し込む(この時点でW1チュービングは元に戻してよい)
- 5、注射筒を押してサンプルを注入し、実験が終了するまで4の注射器は差したままにする